

# 定例公安委員会の開催状況について

令和2年6月11日（木）に、第16回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

## 1 国民生活安定緊急措置法施行令違反（衛生マスクの転売）事件の送致について

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、マスクの安定供給を図るため、本年3月11日に「国民生活安定緊急措置法施行令」の一部を改正する政令が公布され、同年3月15日に施行されていたところ、同法施行令違反（衛生マスクの転売）事件を認知し、事件送致した旨の報告があった。

### 委員のコメント

- 警鐘を鳴らす良い例であると思う。都市部で発生している犯罪に地方が関与できるということを示した。
- 先験的な捜査手法で良い結果につながった。山形県はネット犯罪の競技会で上位に入ったこともあると聞いているが、そうした訓練が功を奏したと思う。
- 警察署の若い警察官がサイバーパトロールで端緒を掴んだことを評価したい。

## 2 高速道路法面における連続放火事件の検挙について

高速道路法面における連続放火事件の検挙について報告があった。

### 委員のコメント

- 腰を据えて時間をかけ、捜査を積み上げた成果と思う。
- 放火事件は検挙されると世間に知らしめ警鐘を鳴らした。動機について取り調べ、しっかり罪を償わせてほしい。
- 立件には緻密な捜査が必要と思う。組織整備で未解決事件捜査を強化した成果があったと言える。

## 3 上山市金谷地内バイオマス発電施設における爆発事故の送致について

平成31年2月6日に発生した、上山市金谷地内バイオマス発電施設における爆発事故の送致について報告があった。

### 委員のコメント

- まかり間違えば大惨事になった事案であり、きちんと責任を追及し犯罪を立証したことを評価する。
- 住宅地に建てられた工場であり、漫然と操作した結果がこうした事件を引き起こしたと世間に示すことができた。
- 業務上の事故を立証するのは大変だと思う。同種事故の防止にも効果があったと思う。

## 4 米沢警察署に対する威力業務妨害事件の検挙について

本年6月3日に発生した、米沢警察署に対する威力業務妨害事件の検挙について報告があった。

### 委員のコメント

- 最初の段階の対応が良かったと思う。昔の不良少年の間では、警察に対して威力を示すことが仲間内でのステータスになる風潮があったが、いまだにあるのは

少し意外であった。

- 当直員の素早い対応とチームプレーなど、初動捜査による検挙だと思う。きちんと更生させてほしい。
- 米沢署の初動捜査と防犯カメラの威力により、早期に解決したことを評価する。

## 5 県下一斉街頭指導「見守り・セーフティ・ロード作戦」の実施について

新型コロナウイルス感染症の影響により通常の啓発活動が制限されている中で、県警が主体となり「警察官の姿を見せる活動」を県内で一斉に実施することで、交通事故の防止はもとより、犯罪の予防、子供の見守りなど県民の安全安心を確保することを目的とし、本年6月1日、県下一斉街頭指導「見守り・セーフティ・ロード作戦」を実施した旨の報告があった。

### 委員のコメント

- 学校も始まるタイミングで実施したことは意味があった。関係機関が一緒にやることで、高校生の自転車が危険な運転をしているとか、危険箇所が把握できるなど新たな視点が得られることがあるので継続してほしい。
- 県下一斉でやるためには、警察署間の連携も良くなければならない。パトカーの姿をよく見るようになり、交通法規を遵守する意識も生まれると思う。
- 新型コロナウイルスの影響で、交通ボランティアが出にくい状況が続いているが、こういう取組を通じて出てもらえるのは良いと思う。白バイの集中運用によって、最近よく白バイの姿を見るようになった。交通事故数は減少しているものの、死者数は年間目標の半数に到達してしまっただけで、なお一層の対応を願いたい。

## 6 公安委員会による「(臨時)認知機能検査」直接実施の運用開始について

本年5月14日から、指定自動車教習所協会に業務委託している「高齢者講習等業務」のうち、75歳以上の高齢運転者が一定の違反行為(基準行為)をした際に受検が義務付けられる「臨時認知機能検査」を、公安委員会が直接実施する旨の報告があった。

### 委員のコメント

- 高齢者講習の予約を取るのが大変だと聞いていたので、高齢者事故を減らすためにも必要な対応だと思う。
- 利用者の利便性を考え、少しでも早く検査を行う前向きな取組と思う。制度が複雑なので混乱を生じないようにしてほしい。
- 全国的に実施している施策であり、村山5署地区内で始まったが、それ以外の庄内・最上・置賜9署地区はこれからということなので、しっかりやってほしい。

## 7 豪雨災害に備えた舟艇訓練の実施について

出水期を前に、浸水地域からの救出・救助に有効な舟艇を活用した災害対処能力の向上を図ることを目的とし、本年6月9日及び同月11日に、豪雨災害に備えた舟艇訓練を実施した旨の報告があった。

### 委員のコメント

- 全警察官に一度は経験させてほしい。災害対応は経験していないといざという時に対応できないし、特に水の災害の場合は、被災者にしがみつかれると沈んでしまう。毎年新人は入ってくるので、必ず1回は経験させるようにしてほしい。
- ボートは慣れないと操作が難しい。新型コロナウイルスの影響下でもこうした訓練は必要であり、人と人との接し方について知見を得て行かなければならない。
- 毎年行うことにより、こういう訓練が生きるもので、しっかりやってほしい。